



【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

長岡赤十字病院

長岡市千秋 2 丁目 297-1

電話 0258-28-3600

ホームページアドレス

<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

就任のごあいさつ

院長 藤田 信也

この度、川嶋禎之前院長の後任として、長岡赤十字病院 病院長を拝命した藤田信也（ふじた のぶや）です。院長は交代しましたが、これまで同様、人道主義という赤十字精神に則り、命と健康と尊厳を守るという当院の医療の原点を忘れずに、患者さんの診療にあたっていきます。全職員ワンチームの医療を心がけていきたいと思っております。

私は、平成7年に神経内科医として当院に赴任いたしました。平成26年から副院長として、8年間、医療安全の仕事などに従事してきました。病院を受診された患者さんに、安全で安心な医療を提供することは、病院の最も大切な使命です。当院では、医療安全推進室の専従医師とリスクマネージャーの看護師らが中心となって、医療事故のリスクを極力減らすための努力を、職員一同続けております。

当院は、ドクヘリの基地を持つ救命救急センターや総合周産期母子医療センターに指定されています。中越地区の約45万人の命を守る最後の砦として、複数の診療科にわたる症状がある重篤な患者さんなどを、原則24時間、365日受け入れる体制があり、救急車の受け入れ応需率は9割を超えています。また、当院は、新潟県に2つある県の災害拠点病院のひとつです。これまでも全国で発生した災害にはいち早く対応してきましたが、この度の能登半島地震でも、発災直後にDMATを派遣し、その後も5回に渡って救護班を送ってきました。

このように高度急性期病院として機能することが、当院の重要な役割ですが、医療スタッフが充足しているとは言えません。ベッド数も限られていますので、患者さんの受け入れから退院までを、当院だけで診るのは難しい状況です。長岡地区の急性期病院である、長岡中央総合病院や立川総合病院と協力し、回復期の病院や、開業医の先生たちとも連携をとりながら、患者さんにとって切れ目のない最善の治療ができるように、地域全体で診療にあたっております。

長岡市とその近郊の住民の皆さまから信頼され、選ばれる病院であるように、今後も力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



職場や乗用車に！じぶん専用 災害備蓄



災害は仕事や外出中に起こるかもしれません。
自宅だけでなく、職場のデスクやロッカー・車中にも災害用の備蓄があると安心です。



基幹災害拠点病院運営委員会備蓄班

食料品

ポイント 食品は好きなものや、食べ慣れているものを備えるのがおすすめ！



政府広報オンライン「いつもの食品で、もしもの備えに！食品備蓄のコツとは？」より

衣料・日用品

ポイント 着替えやタオル・モバイルバッテリーなどポーチやバッグに入れて職場のロッカーへ。簡易トイレは必須です！靴下も重宝。女性は生理用品も入れておきましょう。

メモ 常備薬・絆創膏・圧縮タオル・ホイッスル・ミニライト・現金など必要なものをドリンクボトルに詰め込んだ防災ボトルは車やカバンの中に入れておくのがおすすめ！ボトルに入っているのが水濡れに強いのです。材料は100円ショップでそろいます。



新潟医療福祉大学とパートナーシップ協定を締結しました

この度、令和6年3月26日に新潟医療福祉大学とパートナーシップ協定を締結いたしました。

これにより、新潟医療福祉大学と連携し探求学習の支援や講演会、病院見学会、チーム医療体験会などを通じて早期から医療人材の育成を行い、新潟県の医療人材の育成と定着を図っていきます。



患者会からのお知らせ

がん患者サロン
ほほえみサロン千秋
6月7日(金)
7月5日(金)
14:00~15:30

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

イベント情報

市民公開講座 がん闘病体験者による講演
日時/7月6日(土) 14:00~15:30
場所/長岡赤十字病院 第一会議室

事前申し込みが必要です。詳しくは当院ホームページのお知らせをご覧ください。